



## 街角レポート

このコーナーでは、県内外のまちづくりやちょっと素敵なまちなかのお店や施設などをレポートし皆さんにご紹介します。

### 失われた活力を再び ～カフェ・イン・水戸 2004～

2002年に水戸芸術館現代美術センターが企画した「カフェ・イン・水戸」は「誰とでもコミュニケーションできる行動」の意味を持つ Communicable Action For Everybody の頭文字をつなげて CAFE としての造語をタイトルとしています。



期待にむねを  
膨らませ・・・

### 想い・・・

「カフェ・イン・水戸」の基本テーマは人と街とアートをつなぐコミュニケーションである。道行く人が、街角で思いがけずにアートと出会えるように、作品もギャラリーから街中へ飛び出し、「歩く」を意識した回遊式の展覧会を試みた。水戸の中心市街地に空きビル、駐車場が一層目立つようになった今年は、空洞化する街への提案を含むプロジェクトを立ち上げた。新進気鋭の建築家と共に、水戸芸術館近隣の空き家、空きビルを新たな空間に変換させたりノベーション・プロジェクトはその一例である。単なる改装とは異なりアートの視点を生かした場の変換が、街の在り方への新たなヒントを提示できると期待したい。水戸商工会議所、(社)水戸青年会議所、商店街の若手経営者や NPO、大学や高校、ボランティアなど実に多くの方々に、様々な人的、物的協力も仰いだ。水戸芸術館だけでは実現し得ない規模のプロジェクトを可能にしたのは、まさに柔軟なコミュニケーションである。

水戸芸術館現代美術センター  
芸術監督 逢坂恵理子

### 《Classroom Calligraphy》

徐冰

漢字とアルファベットを融合した  
創作の文字の作品。

CAFÉ in Mitoでは実際文字を書  
くなどの体験型も多い。





## 水戸の街にちりばめられた言葉たち 忘れてしまった何かを思い出す・・・

《ギュートと、なかよし。》イチハラヒロコ  
一貫して作者自身の日常的・私的な感情やつぶやきを言葉として、文字を作品にしている。白地に黒い文字をシンプルにレイアウトしたことばのアートは、見る人に強いインパクトと同時に、親しみやすさを与えてくれる。



## リノベーションプロジェクト

### 《植物の家》

アトリエ・ワン+筑波大学貝島研究室  
ここでは、廃墟になった建物に植物を住まわせることでうまく再生させている。その他に「旧大和薬品」、「セントラルビル」でリノベーションが施されており、楽しみ方、感じ方は見る人により様々である。

## 芸術館周辺の街並み ひとりひとりの想いが・・・

2004年8月8日(日)～10月3日(日)  
 展示会場 水戸芸術館+中心市街地  
 問い合わせ先 Tel 029-227-8111



## 可能性に期待・・・

実際に街を歩いてみると作品が街に溶け込んでいると感じました。ポスターやフラッグに使われているイメージカラーのレモンイエローも街並みに映え、まさに水戸芸術館という現代アートギャラリーそのものに思えました。アーティスト個人のセンスはもちろん、地元自治会の協力無しには実現出来なかつただろう、「CAFE in Mito」(カフェ・イン・水戸)「まちづくり」の新しいスタイルに期待したいと思います。  
 ( 編集委員 T.I&E.A )